

## 年間第6主日

福音朗読 ルカ 6・17、20-26

2025.2.16 9:30 ミサ  
カトリック高円寺教会  
主任司祭 高木健次神父

この教会の近くにあるお寺の掲示板に仏教の物語ですけどこういう物語が出ていました。昔あるお坊さんが、一人の貧しいおじいさんが極楽往生するっていうことを夢で仏様からお告げを受けて、じゃあそのおじいさんはどういう修行をしてるんだろうと思って、わざわざ旅をしてその人のところに出かけて行って、一日ずっと付いて回って、その人がどんなことしてるのかを観察しようとしたんです。で、その貧しいおじいさんは確かにいつもずっとニコニコしているし怒ったりしないわけですけども、一日見ていると特別ななんか修行する様子がない。そしてもう夜になって寝ようとしてるので、そのおじいさんに「もう隠さないで特別な修行してるんだったら教えてください」っていうふうに尋ねたわけです。そしたら「自分はそんな修行なんかしてない」と。「でもじゃあ心がけていること」と言えば、「苦にも楽にも囚われないっていうようにしてる」という答えだったんです。仕事が苦しいときには、いや牛や馬はもっと苦しいだろう、あるいは地獄に落ちた人たちの苦しみはもっと苦しいだろうって思うようにしてるし、なんかいいことがあったり美味しいものが食べられたときには、でも極楽で味わう喜びはもっと大きいだろうっていうことを思うようにして、その時その時に体験している良いことや嫌なことに囚われないようにしてるんだという答えが返ってきて、お坊さんが、「あゝ、確かにこの人は極楽に行く人なんだ」っていうふうに、「特別な修行をしてではなくて、そのころがけによって行く人なんだ」って気づかされた——これ仏教の話ですけど——そういう物語が出ていました。

今日の福音の中でイエス様がおっしゃる、貧しい人や飢えている人や泣いている人が幸いで、富んでいる人や満腹している人や笑っている人が不幸であるっていうこの言葉は、そのように理解することができるのではないか。つまり人間を二つのグループに分けて、互いに対立するような気持ちを掻き立てるの

が目的なんではなくて、その時の幸いや不幸に囚われないようにというか、苦しみの中にあってもそれに囚われなければ幸いに通じるし、幸いなことが与えられていたとしても、それを失うまいと囚われるならばそれが不幸に通じるんだって言うことを言っているような気がします。

それでは、その時その時に体験する良かったことや嫌なことに囚われないようにするにはどうしたら良いのか。物語の中でおじいさんが「苦しいときには牛や馬や地獄の人たちがもっと苦しいだろうと思うようにしている」ってありましたけど、やっぱり同じかもしれません。

自分が何か困難にあるときに、そのことばかりを考えるのではなくて、それを他にも苦しんでいる人のことを思い出すきっかけにするならば、それが幸いへの道だし、また自分に何か良いことが起こっているならば、それを通して、<sup>た</sup>他の人よりも自分が優れているとか他の人を下に見るのではなくて、他の人の困っていることに心に向けて助けることができるんじゃないかというふうに思う。そのことを通して、です。幸いや苦しみの中に、自分を通して、自分のことだけに閉じこもらない、他の人とつながり、それはやがて神様とつながっていく、イエス様とつながって、まことの、いろんな出来事に振り回されない心の平安へ、そして互いにつながり合いながら神様のもとで喜ぶ天国の幸せへとつながっていくということなのではないかなと思うんです。

口で言うのは簡単なんですけど、でも苦しいときに他の人の苦しみに心向けるはとても難しいことだと思いますし、自分が色々恵まれているなというときにそれを他の人のために使うっていうのは簡単のように思うけど、でも実際にそうなら、いや自分の手の中にあるものを他の人のために差し出す<sup>ほか</sup>っていうのはやっぱり同じように難しいことかもしれません。

でもそのためにわたしたちはイエス様から信仰の恵みへと呼ばれたんです。わたしたちにとって簡単なことだから信仰に呼ばれたんじゃない。自分の力ではできないことだけど、イエス様が助けてくれるからだんだんにできるようになるんだっていうその希望のうちに信仰に呼ばれたことを思い出したいと思います。そして、いつもイエス様ご自身がご自分の心を、命をご聖体を通してわたしたちと分かち合おうとしてるんだっていうことをカトリック信者は思い出します。そのご聖体に強められながら、一人ひとりがいろんな中で、毎日の生活で体験する苦しみの中にもまた幸いの中にも、<sup>た</sup>他の人そして神様に心向けるそ

ういうきっかけとなって、イエス様と共に歩み、心の平安を、本当の意味での平安をいただく、互いにそれを分かち合うことができるように。そのためだったらイエス様がいくらでも助けてくれるんだということいつも思い出しながら、このごミサを通して互いのために祈り合いたいと思います。

---

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>